

大島小学校の教育



教育目標
思いやりのある たくましい子

《三条おおじま学園

《小中一貫教育の推進》

《家庭・地域との連携》

☆小中・小小・幼保小が連携し、9年間の学びを大切にします。

<目標>
ふるさとを愛し、たくましく未来を拓く
子どもの育成

<目指す児童生徒像>

- ◇伝え合い、学び合う児童生徒
- ◇相手を思いやる児童生徒
- ◇地域の一員として、人やものを大切にする児童生徒

<目指す子ども像>
伝え合い、高め合う子ども

「確かな学力」
「優しく強い心」
「健康な体」

☆家庭・地域の教育力を生かして、地域とともに歩みます。

- 学習や学校行事への参画促進
- 便り・ホームページでの情報発信
- 家庭学習習慣や安全教育など、目標を共有した家庭・地域との行動連携
- 子どもを守る地域ぐるみの防犯
- 「子どもがつくる弁当の日」の共同企画実施
- 学園学校運営協議会制度の活用

☆「大島小」が目指す教育の3本柱☆

《確かな学力の育成》

《優しく強い心の育成》

《健康な体づくり》

☆基礎的・基本的な知識及び技能を定着させ、伝え合い、学び合う力を高めます。

◇**基礎的・基本的な知識・技能の定着**

- 学ぶ意欲を高め、楽しく分かる授業の創造
- 単元終了後に行うテストで基礎的・基本的な知識、技能の定着の確認と補充指導
- 県の診断問題に向けた取組の充実(4～6年)
- 家庭学習カードを活用した家庭学習の習慣化

<評価のポイント>
◆国語、算数テストの平均点や診断問題の結果が県平均を超える子の増加

◇**伝え合い、学び合う力の向上**

- 授業規律(話を聴く、自分の考えをもつ、進んで話す)の徹底
- 自分の考えを分かりやすく伝えたり、自他の考えのよさをいかして考えをさらに深めたりする場(ペアやグループ、全体での話し合い)の設定
- 発達段階に応じた話し方・聞き方を育てる大島小スタンダード(授業の基本形)の活用

<評価のポイント>
◆伝え合い、学び合うことができる子の増加

☆基本的な生活習慣を定着させ、思いやりの心や折れない心を育てます。

◇**基本的な生活習慣の定着**

- 児童会や学級が主体となる挨拶運動(いつでも・めを見て・えがおで・じぶんから)の実施(重点月間4・6・9・11月)
- 基本的な生活習慣5項目(①挨拶や返事、②まじりの遵守、③苦手なことにも挑戦、④正しい言葉遣い、⑤教え合いや声の掛け合い)の徹底

<評価のポイント>
◆学校や地域で、友達・家族・来校者・地域の人に進んであいさつができる子の増加

◇**楽しく遊び、互いに認め合い助け合える人間関係づくり**

- 昼休み等を活用しての集団遊び
- 学級や学校をよりよくする活動や、地域への貢献活動の実施
- 年間計画に位置付けて、小小交流・異学年交流(交流給食・遊び・絵本の読み聞かせ)をし、シェアリングを行う。
- 自分を見つめながら、他者と共によりよく生きる大切さを学ぶ「考え、議論する道徳」の推進

<評価のポイント>
◆異学年同士や他校の子とも教え合い、声を掛け合う子の増加

☆困難を乗り越えることができる気力と体力を育てます。

◇**「体力(全身持久力・握力)」の向上**

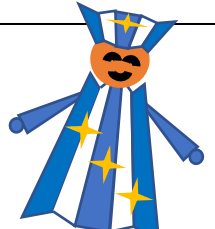
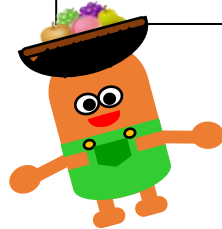
- 授業や朝活動に位置付けて継続的に取り組む全身持久力・握力を鍛える運動の設定
- 持久走タイムの実施(9～10月)
- チャレンジデーの実施

<評価のポイント>
◆シャトルラン・握力の測定結果の向上

◇**望ましい生活リズムの定着**

- 元気モリモリぐっすりウィーク(起床・就寝時刻等)の実施
- 保健指導(睡眠の時間帯・量・質の向上を図る眠育)の実施
- 「ぐっすりウィーク」カードの活用と便りの配付

<評価のポイント>
◆「ぐっすりウィーク」カードによる規則正しい生活リズムの達成率増加



<学校経営方針>
笑顔・信頼・誇りのある学校

| | |
|------------------------------------|------|
| (1) 子どもにとって「学校が楽しい、明日もまた来たい」と思える学校 | 「笑顔」 |
| (2) 保護者・地域から信頼され、期待される学校 | 「信頼」 |
| (3) 職員が生き生きと活動し、生きがいをもって働く学校 | 「誇り」 |